

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2008年5月

コミッティ活動

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

5月13日に、ISDAは金融庁、日本銀行と個別に会合を行い、最近の市場状況などについて意見交換を行った。ISDAは「ストラクチャード商品の販売者と投資家の関係を管理する原則」の公開草案、クレジットデリバティブ取引の新しい決済の仕組みの定義集への組み込み、OTCデリバティブ取引のインフラ向上を目的としたオペレーション上の課題等についてアップデートを行った。

税法上の問題: 国税庁と会合を行い、ISDAマスター契約における印紙税法の取り扱いについて話しあった。

Weather, commodity & developing products: 担当森田(tmorita@isda.org)

不動産デリバティブ: 5月19日に不動産デリバティブワーキンググループによる会合が行われ、英国、北米、オーストラリア、香港など日本以外の不動産デリバティブの発展状況について、GFI証券によるプレゼンテーションが行われた。

排出量取引: 5月26日に排出権取引ワーキンググループの第一回会議が行われた。ワーキンググループの発足は2003年であるが、世界規模で排出権取引業務に積極的に係る金融機関担当者によって再組織された。

Credit Derivatives: 担当難波(knamba@isda.org)

5月28日、Japan Credit Derivatives Committeeの会合が行われ、ISDAのCDSオークションプロトコルの仕組みについて理解を深め、日本でイベントが起きた際にはどのような決済方法を用いるかが話し合われた。会議の内容は、クレジットイベント決済の仕組みの変遷並びにプロトコルに基づくオークションのキーコンセプトやスケジュールについてのプレゼンテーションと、メンバーによる議論。参加者総意として、多岐に渡る課題につきさらに詳細な議論をする場としてワーキンググループ設立が決定された。

Equity Derivatives: 担当難波(knamba@isda.org)

5月16日、ISDAは2008 Japanese Dividend Swap Master Confirmation AgreementとAnnex IDS (Index Dividend Swap)を発行した。

5月21日、Japan Client Share / Index Option MCA Working Groupは電話会議を行った。会議の要約と検討課題のリストは5月30日にワーキンググループメンバーに回覧された。Open Issuesに対する回答期限は6月9日。

Equity Derivatives: 担当難波(knamba@isda.org)

5月14日、FpMLとSWIFTNetのコラボレーションプロジェクトについて話し合うため、Japan Operations FpML Working Groupの会議が開催された。スピーカーは、SWIFT Standards Department (所在地ベルギー)所属のFrancoise Massain氏。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

CDS Auction Working Group Meeting
(日本語による会合)

tbc

Property Derivatives Documentation Task Force Meeting
(日本語による会合)

tbc